

在仏日本人会  
会報  
2021年  
1月・2月号

# Journal Japon



## 新年のご挨拶

令和3年1月吉日

片川喜代治

在仏日本人会会長



明けましておめでとうございます。令和三年の新春を迎えるに当たり、会員の皆様とご家族のこの一年のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨年来、新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るい、数多くの尊い命が失われ、経済社会に未曾有の事態が生じております。亡くなられた方々とその御家族に哀悼の意を表するとともに、罹患された方々並びに困難な状況におられる方々に心よりお見舞い申し上げます。また、同ウイルス感染終息に日々最前線でご尽力されておられる関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、我々の社会の本質的な課題と弱点を可視化したのみならず、世界のパラダイムチェンジを加速し、めざすべき未来の輪郭を浮き上がらせています。ワクチンが普及する今年、パンデミックの抑制とその災禍からの回復のために「国家を超えた協働」が必要であり、新たな世界のデザインを模索する極めて重要な年ではないかと思うものです。

欧州連合は「Towards a green, digital and more resilient Europe」を実現する経済対策を発表しています。我が国も、デジタル社会、グリーン社会の実現をし、より強靱な国造りを目指すことを、首相が施政方針演説で明らかにしています。また今年の世界経済フォーラムのテーマは「The great reset グレートリセット」であり、世界は、コロナ禍に背中を押されて変化することを余儀なくされ、Covid-19 後のあるべき未来を構築するために経済的・社会的基盤のリセット、リカバリーを構想しています。

このような地球レベルの動きは引き続き目が離せませんが、それは各分野の専門家に任せるとして、この「リセット」という考え方は私が本会会長に就任して以来のテーマであります。2019年3月にはサイトを全面的にリセットしました。今では頻りに皆様にお届けするお知らせとともに会の情報発信の重要な役割を果たしています。特に昨年3月のコンフィヌマン以降のページビューはこれまで2万/月を下回ったことがなく、ピーク月には3万に達する勢いでした。アクセスページで複数月トップを走ったのが「布マスクの正しいつけ方・外し方・洗い方」であったのが印象的で、見事にコロナ世相を反映していました。又「お知らせ」につきましては、コンフィヌマン中は、ほぼ毎日のように様々な有用情報をコロナ関係を中心にお届けし、多くの方々からお礼のお言葉をいただきました。お知らせとサイトの担当の方には、この場をお借りして、昼夜を問わずそのご尽力に本会を代表して謝意と敬意の念を表します。

現事務所につきましても、昨年11月に労働局と消防局の検査を受け様々な改善事項を指摘されており、事務所のスペース問題含めてリセットする良い機会なのですが、財政負担の上昇が不可避となります。コンプライアンスに関わることでもあり、皆様のご協力とご理解を得ながら進めることとなりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、コロナ感染が拡大する日本で、NHK交響楽団は昨年12月末にベートーヴェンの「第9」コンサートを4回敢行しました。昨年は楽聖ベートーヴェンの生誕250年でした。交響曲に初めて合唱を入れた「第9」は、「密」を避ける感染防止の意味ではふさわしいとは言えません。N響は合唱団を80人から40人に減らし、マスクを外すのは本番だけとし、団員の間隔も前後左右2メートルから1メートル空け格子状にして、オーケストラとの間にはアクリル板をおく対策を取ったようです。N響の「先行きの見えない時代を照らす、ベートーヴェンの不屈の精神」をコロナ禍の今こそ示したいという決意には拍手を送りたい。聴覚を失い、内臓疾患に苦しみながらも「第9」を完成させた楽聖。だからと言って、彼の曲は暗いまま終わることは決してなく、最後には人々を希望や喜びの園に導いていきます。

「さあ、お互いに手を取りあって、歓喜の園へと進もう」と力強く歌い上げます。

「第9」は、1985年にはEUが統一の象徴として欧州連合賛歌として採用。

1989年にはベルリンの壁崩壊の記念コンサートで演奏されたのもこの「第9」。

更に2005年には愛・地球博でも演奏されました。

世界がこの人類レベルの危機を突き破り、「歓喜」の叫びを上げる日が来ることを、皆様と一緒に楽しみに待ちたいと思います。そして「国家や人種を超えた連帯」の象徴である「平和の祭典」、東京五輪・パラリンピックが、日本の人知を結集しコロナ後も見据えた「革新的祭典」としてこの夏開催に漕ぎつけることを願ってやみません。

引き続き本会の目指すべき将来像の実現に向けて皆様とともに考え、行動する一年としたいと思います。



特集

フランスにいるから書けるもの

パリュスあや子

惑星Xの内紛により、宇宙を漂っていた惑星人X。彼らは高度なスキャン機能を持っており、人間をスキャンして人類の思考を共有できるようになったヒト形宇宙人を「惑星難民X」と呼びならわし、地球に受け入れる動きがアメリカを筆頭に進みつつある。そんななか、日本でも「惑星難民受け入れ法案」が可決されたー

第14回小説現代長編新人賞を受賞した『隣人X』の設定は、フランスでの暮らしがなければ決して生まれなかったと思います。

初めてフランスを訪れたのは大学時代、夏休みの一人旅でした。第二外国語でフランス語を専攻していたので少しは話せる自信があったのですが、紛失したスーツケースについて係員とやり取りすることも満足にできず、空港に降り立った時点から最悪のスタート。滞在中もあまり良い思い出がなく、もう二度とフランスには行かない！と言っていたのに、まさか「移民」としてフランスに生活の拠点を置くことになるとは思ってもみませんでした。

私は幼いころから母の影響で短歌を詠んでおり、大学院で学んだ映画脚本も書いていたので、活字に向き合うのはずっと好きでした。ただ、縁あってフランス人の夫と結婚し、フランス社会で生きていくなかで、その国の言葉を学んで順応せねばという焦りがあり、サービスの仕事にありついても「日本語なら伝えられるのに」と悔しい思いをするシーンが多々ありました。胸の内でもうすぐものを、フランス語では十分に表せないことに苛立ちがあり「日本語で、好き勝手に語りたい！」という切羽詰まった想いが、今まで書いたことのない小説という形式に向かいました。

日本にいたときは遠い話だと感じていた「移民」や「難民」の問題。当事者となってようやく向き合えるようになり、ずっともやもやと考えていたのですが、前述のSF設定を閃き「これだ！」と猛烈に書き始めました。壮大な嘘のなかだからこそ、外国で働く難しさや日本で抱えていた様々な鬱屈も、エンターテインメントとして書けるのでは…。

日本でも「惑星難民X」を本当に受け入れるのか？ 実はおもろく読んでもえるもの」を目指しました。気軽に楽しく読み進めていたら、意外に心に響く部分があった…そんな読書体験になれば幸いです。

主人公はそれぞれ、新卒派遣社員として大手企業に勤務する土留紗央、就職氷河期世代でコンビニと宝くじ売り場のかけもちバイトで暮らす柏木良子、来日二年目で大学進学を目指すベトナム人留学生グエン・チー・リエン。境遇の異なる三人が、それぞれ生きづらさを抱えながらも懸命に生きるなかで、ゆるやかに交差していきます。

三人とも自身が投影されている部分はありますが、異国暮らしの苦勞を託したりエンについて、「職場にいた外国人技能実習生のことを思い出した」、「よく行くコンビニにも外国人スタッフがいた」と、「日本でも身近に働いている外国人の人たちについて考えるようになった」という感想をもらうことがあり、とても嬉しく感じました。

設定は突拍子もないSFで、中身は小難しい話に聞こえてしまうかもしれませんが、なにより「おもしろく読んでもえるもの」を目指しました。気軽に楽しく読み進めていたら、意外に心に響く部分があった…そんな読書体験になれば幸いです。

2020年に作家としてデビューさせて頂いてすぐ、コロナウィルスが世界各国で猛威を振るい始め、社会の在り方や人の行き来までもが激変してしまいました。なにを書いたところで無意味だという虚しさに苛まれたこともありましたが「フランスで現実に行き始めていることを記録しておきたい」と、春のパリでのロックダウンを描いた「ふたりのサラ」という短編小説を文芸誌に寄稿できたとき、形に残せて良かったと思えました。

脚本を勉強するようになってから「今、なぜこれを書くのか」という問いは常に持ち続けていますが「フランスにいる私が、なにを書けるか」も大切に考えていきたいと思っています。外出制限中はネットを覗いている時間も増えてしまいましたが、フランスの伝統あるお祭りや風習、フランス人と肩を並べて活躍されている素敵な日本人の方々の記事もたくさん拝見し、刺激をもらっていました。

2021年はアンテナを高く持ち、フランスの気になる場所や特殊な仕事、魅力的な方々の取材もしたいと考えています。コロナが終息し、明るい一年になることを心より祈りつつ…。



パリュスあや子

フランス移住後に作家デビュー。東京芸術大学大学院映像研究科修士課程卒。

「山口文子」名義で映画「ずぶぬれて犬ころ」脚本担当、歌集『その言葉は減価償却されました』上梓。

ご帰国される方

# 引越しセミナー

2月9日(火)  
10~12時

ZOOM会議  
予約制

各種解約手続き、ハウスクリーニング、引越し免税、ワイン輸送などご案内

トランスユーロで引越しのお客様限定!

# JASMIN 優待セール

2 / 1(月)・2(火)・3(水)・4(木)

人気のクチポールのカトラリー、鍋専門のスタンプ、北欧ブランドのイッタラ、アラビア、マリメッコなど多数取り揃えています!

第2弾 5 / 3(月)・4(火)・5(水)・6(木)

## 特別寄稿

## コロナ禍における心の健康



昨年はコロナ、コロナの一年でしたが、ウィルス株の突然変異も重なって拡大・拡散を続け、今年もコロナに悩まされそうです。周知の通り、欧州地域は深刻な状況にあり、フランスは二度もロックダウンが実施されましたが、この先三度目の可能性もあります。事態が長引くにつれ、メンタルヘルスへの悪影響が出始め、感染ノイローゼばかりでなく、パニックを伴う不安障害や心身疲労の蓄積に起因するうつ状態など、問題が広範化しています。また、ロックダウンに伴う夫婦間不和や家庭内騒動が重篤化して破綻へ至る例も少なくありません。

したがって、コロナ禍におけるメンタルヘルス対策の必要性が強調されています。要は、気分転換して気持ちをポジティブに持って行くにはどうすればよいか、ですが、インターネットを検索すれば様々な情報が得られるので、これについては触れません。しかしながら、ひと口に気分転換とはいっても、実際には「気」を操作することは「言うは易くて…」であり、プラス思考に向けようとしても、無理すれば空回りしてしまいます。

ここでは、筆者が本紙に合計10回に渡って執筆した(No.127, 128, 132, 133, 135, 137, 138, 141, 142, 143)シュルツの自律訓練法を再度紹介します。とは言っても、治療法ではなく、あくまでもリラククス法としてであり、その眼目は、「気」を動かして「気」を休めるには具体的にどうするのか、です。それには最も身近である自分の身体を使うのが分かりやすく、やり方も実に簡単です。リラククス法(自律訓練法)には様々な方式がありますが、創始者はドイツのシュルツであり、最もスタンダードなやり方です。

以前に掲載した記事では仰向けになって行う方法を紹介しましたが、本稿ではイスやソファに腰かけて行うやり方にします。大事なことは「気軽に」「気楽に」実践することで、意識して構えようとまう行きません。まずはソファに深く腰かけて、手は腿に置いて、両脚の脇に置いて構いません。そして、軽く眼をつぶって…、「気持ちが落ち着いている…」と3, 4回自分に言い聞かせます。次に第1項目「両腕が重たい…」を5分から10分、実感として分かるまで毎日行います。これが分かれば、別な日に、また「気持ちが落ち着いている…」から始めて、第1項目をやり、第2項目に移ります。

このようにして、「気持ちが落ち着いている…」から始めて、1+2+3…と、ひとつずつ加えて行きますが、各項目を十分マスターしてから次の項目を加えていき、8項目全部やっても10分から15分で終わります。各回とも、練習が終わって立ち上がる前に腕脚を伸ばして背伸びをし、筋肉の緊張を取り戻すことを忘れないで下さい。

1. 両腕が重たい…
2. 両脚が重たい…
3. 両腕が温かい…
4. 両脚が温かい…
5. 心臓がゆっくり、規則正しく打っている…
6. 呼吸が楽だ…
7. お腹が温かい…
8. 額が涼しい… あるいは 額がさわやかだ…

ここで気を付けることは、不整脈その他の心疾患のある人は「心臓が…」を省き、呼吸器疾患のある人は「呼吸が…」を省きます。リラククス法を実践しようとして雑念が浮かぶのはフツウであり、気が散ってうまく行かないときは時間をずらして行います。「気持ちが落ち着いている…」と自分に言い聞かせることは、受動的、つまり受身的な集中です。仏壇を拝むときに使うチーンがあれば、それを軽く打って音が消え入るまで聞き入っていると、いつの間にか受動的集中ができます。これら8項目が完成すると心身が自然体になり、いわゆる「ゼロの状態」、つまり完全にリラククスした状態になりますが、ここからどこへ向かうかは皆さん次第です。

精神科医/カウンセラー 太田博昭

## ヨーロッパでの和紙にまつわるお話 &lt;17&gt;

～墨とインク～

坂本昭二(龍谷大学/Centre de Recherche sur la Conservation)

紙は主に記録情報を記す媒体として使われてきましたが、今回は紙に文字を書くために必要な墨やインクのお話です。

墨も紙と同様に中国で発明されていますが、その起こりははっきりしません。殷代後期(紀元前1300~1000年頃)には墨や朱で書かれた甲骨文字が残っており、この墨は木炭に漆を混ぜたものと推測されています。紀元前100年頃(前漢時代)になると固形の墨が存在したことが確認されています。(紙もこの頃に発明されたとされています。)墨は基本的には松や油を燃やした後に残る煤(炭素の黒い粉末)と接着剤の役目を果たす動物の骨や皮などから抽出される膠(ゼラチン)を混ぜ合わせたものです。日本には5世紀頃に漢字とともに墨、筆、紙が伝わったとされています。記録上では『日本書紀』に610年に高麗王が遣わした僧の曇徴が紙墨に通じていたことが記されているのが初見です。以降、東洋での文字の筆記には墨が長く使われてきました。

一方、西洋でも古代から東洋同様の炭素系のインク(カーボンインク)が存在しましたが、中世以降筆記用のインクとして最も普及したのは没食子インクと呼ばれるものでした。没食子とはタマバチ(体長5mm程の小さな蜂の一種)がブナ科植物の葉や枝に卵を産み付ける(寄生する)ことによって、その部位の組織が作り変えられてできるピンポン球程度の果実のような虫こぶのことで、この中で幼虫が成長してやがて外に出て行きます。没食子インクは没食子から抽出したタンニン(お茶や赤ワインにも含まれるポリフェノールの一種)と硫酸鉄(II)を反応させてできる黒いインクに接着剤の役目を果たすアラビアゴム(植物の樹脂)を混ぜ合わせたものです。タンニンと鉄を反応させて作られたインクは少なくとも4世紀にはすでに使用されていたことが確認されていますが、いつ頃から使用され始めたのかははっきりしていません。中世以降ヨーロッパや中東では筆記にはカーボンインクは次第に使われなくなり、没食子インクが広く一般的に使用されるようになりました。これはカーボンインクが紙の繊維に付着(炭素の粉末粒子が繊維上に乗っている)しているだけの顔料であるのに対して、没食子インクは繊維中に染み込む染料であるために書かれた文章の改竄が困難であることがその理由の一つです。フランスやイギリスでは記録筆記には没食子インクの使用を規定する法律まで存在しました。ただし、没食子インクは酸性である欠点があり、インク焼けと呼ばれる現象を起こすことが知られています。古文書など調査していると折時文字部分に虫食いのような穴の空いている状態を目にするのですが、これはインクの腐食作用によって紙を構成しているセルロースが破壊されてしまうことが原因であることがわかっています。

## パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 事業案内 (2021年1月20日～2021年3月10日)

## 入館案内

開館日：毎週火曜日～土曜日(日、月曜日、祝祭日は休館)

新型コロナウイルスの影響により、開館時間やイベントの実施状況が随時変更をされることが予想されます。詳しくは当館HPにてご確認をお願い致します。

(仏語) <https://www.mcjp.fr> (日本語) <https://www.mcjp.fr/ja>

## 【オンライン事業】

「Le studio (ル・ステュディオ)」：舞台、美術、ポップカルチャーをはじめとした様々な分野の日本文化を紹介すべく、アーティスト・専門家をお招きして、インタビューやデモンストレーションなどをYoutube上で配信中です。

<https://www.mcjp.fr/ja/agenda/le-studio-jp>

「Miso Point」：パリ日本文化会館のポッドキャストが誕生しました。先入観や幻想でもって語られがちな日本文化や日本社会について、専門家とともにmise au point(解明)していきます。

<https://audioblog.arterradio.com/blog/152400/miso-point>

## 【展示】

\*展示は別途表記のないものはすべて展示ホール(2階)で開催(火～土、11時～19時30)

## 「美の秘密-浮世絵に見る江戸時代の化粧と髪型」展

会期：2020年10月7日(水)～2021年3月6日(土) ※会期が延長になりました※

※前後期制(浮世絵作品が全点入れ替わります)

・前期：2020年10月7日(水)～2020年11月28日(土)

・後期：2020年12月3日(木)～2021年3月6日(土)

●展示替えのため、1月13日(水)～16(土)は閉場します。

●日・月・祝は閉館日です。

入場料：一般 5€ / 割引 3€

内容：江戸時代の化粧風俗を描いた浮世絵作品150点(※前後期入れ替え制)、および化粧に用いられた道具や装身具、日本髪を再現した結髪雛形等約60点の展示を通して、江戸時代の化粧文化と当時の女性たちの美意識を紹介する展覧会。美人画に描かれた女性の化粧や髪型に加え、背景にさりげなく描かれた化粧道具や、シーン(化粧行為の一場面)などを丁寧に読みとぎながら、江戸の化粧や美意識、化粧の社会的役割を紹介いたします。

本展ではさらに、浮世絵が描かれた時代に、実際に使われていた化粧道具と一緒にご覧いただくことで、浮世絵の鑑賞や理解を、一段と深めていただけます。浮世絵を通じて江戸の化粧や美意識を概観するとともに、粋で華麗な江戸の女性美をお楽しみください。

※本展は完全事前予約制です。無料入場対象者の方も含め、ご予約の上ご来場ください。

詳細・予約はこちらから：<https://www.mcjp.fr/ja/agenda/secrets-de-beaute-jp>

## 「真葛焼宮川香齋と茶懐石の世界」展

会期：1月19日(火)～1月30日(土)

会場：地上階エントランスホール

入場料：入場自由・無料

内容：330年の歴史を誇る窯元・宮川香齋家は長年京都で主に茶の湯の為の陶磁器「真葛焼」を作り続けています。日本の茶の湯とは単にお茶を飲むだけでなく、あらゆる文化、工芸品が集約されています。その茶の湯に欠かせないものの一つが「茶懐石」であり、その料理は禅の影響を色濃く受け継いでおり、また現代の和食の基本ともいえるものです。真葛焼はじめ、京都の茶懐石に纏わる10家以上の老舗の方々のご協力いただき、器と茶懐石文化について詳しく学び、風雅な時間をお楽しみいただけます。茶懐石の世界を通して、真京都の伝統と革新を感じていただけたら幸いです。

## 「書～日と月～」展

会期：2月2日(火)～6日(土)

入場料：入場自由・無料

内容：日と月の存在は、日本の旧暦や古事記などの記紀の中でも、大切に取入れられていました。それぞれの満ち欠けに合わせた季節、旬の言葉、美しい言霊を新やまや文字で綴り、書を通して日本人の「自然への畏敬」が伝わるような書の作品展示を行います。

## 「妖怪を探そう！」展

会期：2月2日(火)～20日(土)

入場料：入場自由・無料

内容：イラストレーターRomain Taszek氏による妖怪のイラストを学校休み期間に合わせて展示します。大人も子ども楽しめる面白い展示となります。

## 「伝統と先端と」～日本の地方の底力～展

会期：3月2日(火)～3月13日(土)

会場：地上階エントランスホール

入場料：無料

主催：CLAIR Paris

内容：日本列島各地の伝統工芸は、モノを芸術の域まで高める「ものづくり」の価値観を原点としています。日本の茶の湯とは単にお茶を飲むだけでなく、あらゆる文化、工芸品が集約されています。今日でも、歴史ある伝統工芸品の優美なデザイン、繊細な手作業、そしてその高い完成度は日本人の日常生活を豊かなものにしてくれます。第8回目となる本展では、フランスと日本に共通する魅力である「食」をテーマに、日本の地方に根付いた伝統工芸の職人の技が現代の生活に息づく多様な展示品を通して、その豊かさの一端をご紹介します。

## 【公演】

## 「RAINS Percussions de Strasbourgコンサート」

日時：1月23日(土) 19時30分～

会場：大ホール 入場料：一般20€、割引18€、会員16€

内容：当地で60年近く活動続ける打楽器アンサンブルLes Percussions de Strasbourg(ストラスブルール・パーカッション・グループ)によるコンサート。日本人現代音楽家4人(細川俊夫、岸野末利加、平義久、武満徹)の楽曲を披露。

## 竹内梓ソロ作品「kara-da-kara」公演

日時：2月10日、11日 19時30分～

会場：大ホール 入場料：一般15€、割引13€、会員11€

内容：当地で活躍する日本人ダンサー竹内梓の4作目となるソロ作品「kara-da-kara」を上演。トゥールーズのガロンヌ劇場の委嘱で2019年の1月に初演を迎えた照明のインスタレーションとダンスのコラボレーション作品。

## 【講演会・セミナー・シンポジウム】

## 「真葛焼と茶懐石の器」

日時：1月30日(土) 15時半～17時

入場料：予約制・無料 言語：日本語、仏語逐次通訳付き

内容：330年の歴史を誇る窯元・宮川香齋家が、講演会とデモンストレーション形式で、器を通して茶懐石を紹介します。

## 「日本酒と酒米」

日時：3月9日(木) 17時～19時

入場料：15€ 言語：仏語

内容：ワインがブドウの品種によって味わいが変わるように、米と水のみでつくられる日本酒は、酒米によって酒質が異なるのでしょうか？コンクールに創設された3つの酒米部門の酒米を中心に「酒米」について紹介します。第2部の試飲会では、酒米部門の審査員賞を獲得した日本酒も含め、コンクールの受賞酒の日本酒を味わっていただきます。

## 【映画】

## 子ども・家族向け映画上映会

日時：2月18日～20日及び25日～27日 14時～

会場：小ホール 入場料：3€、10人以上の子どものグループは無料

内容：地上階展示「妖怪を探そう！」展に合わせて、妖怪や不思議な生き物のアニメ映画を上映します。18日「平成狸合戦ぽんぽこ」、19日「妖怪ウォッチ-誕生の秘密だニャン!」、20日「モモへの手紙」、25日「白蛇伝」、26日「となりのトトロ」、27日「千と千尋の神隠し」。仏語吹替版。

## 【ワークショップ、他】

## 親子・大人向け「書と掛け軸ワークショップ」

日時：2月6日(土) 会場：厨房及びレセプションホール

時間帯及び参加費：親子対象：13時～15時、大人20€、子ども15€

大人対象：15時半～17時半、25€

内容：日本とフランスをつなぐオンラインワークショップ。日本からの書家・詠月(荒尾美紀氏)の指導により、本格的な掛け軸作りに挑戦し、また、その後は、宗偏流によるお茶体験をご用意します。参加者全員で淹れたてのお抹茶を楽しみながら、掛け軸作りの品評会をしましょう。日本語、仏語逐次通訳付き。

## 「ミニ生け花を作ろう！」

日時：2月16日(火) 14時半及び16時

会場：教室2 参加費：10€(備品込み)

内容：「いけばなの基礎を学びながらいけばな文化を体験してみましょう。8歳以上対象。仏語事業。

## 「カタヒラヨシシ漫画講座」

日時：2月16日(火)～19日(金) 14時～17時

会場：教室1 参加費：160€(4セッション1コース)

内容：漫画作りに大切な絵の基本やお話作りの基本を一から学べる講座です。練習用と漫画の原稿用の紙はこちらで用意しますので、普段みなさんが使い慣れている画材道具をお持ちください。12歳以上対象。

## 「紙芝居を作ろう！」

日時：2月18日(木)及び19日(金) 会場：教室2

内容：浅井宏美氏による紙芝居ワークショップです。仏語事業。

・5-7歳体験コース、13時及び14時半(所要時間1時間)

参加者持込み備品：カラーマジック、色鉛筆。大きくなったら何になりたい?世界で一番誰が好き?好きな動物は?たくさんの色を使って絵を描いてお話を作ってみよう!

・7-14歳紙芝居制作コース、16時(所要時間2時間、2日1コース)

参加者持込み備品：カラーマジック、色鉛筆。テーマに沿ったお話とイラストを作って、自分だけのオリジナル紙芝居を作ってみよう!

## 子ども向け「STOP MOTION」ワークショップ

日時：2月25日(木)及び26日(金)

会場：教室2 参加費：2€

内容：妖怪作品映画上映後、君も実際にSTOP MOTIONのテクニックを使って妖怪ミニ映画を作ってみよう! 仏語事業。

## 「信州組子細工」

日時：3月6日(土) 14時及び15時 会場：レセプションホール 参加費：6€

内容：「組子」は、小さな切れ込みが入れられた木材に、もう一方の木材を組み込むことにより、釘を使うことなく製品を組み上げる日本の伝統技術です。あなたも信州の組子細工を体験してみませんか。

## 【囲碁教室】

開催日(土曜日)：2月6日・13日・27日、3月6日

<上級>14時半～16時 <全レベル>16時～17時半

受講料：7回コースに対し35€、MCJP会員及び18歳以下割引24.5€

## 【裏千家茶道-茶の湯】

開催日：2月3日～3月24日までの毎週水曜日(祝日を除く) 参加費：一律7€

## 【裏千家茶道教室】

開催日(水曜日)：2月3日～3月24日までの水曜日17時15分コース及び18時コース

参加費：8回コースに対し88€、MCJP会員割引64€、学生(26歳以下)割引76€

## 【表千家茶道-茶の湯】

開催日(土曜日)：2月20日 参加費：一律10€

## 【表千家茶道教室-立礼】

開催日(火曜日)：2月2日～3月30日までの火曜日(2月16日・23日は除く)

17時半～19時半 参加費：7回コースに対し91€

パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 事業案内  
(2021年1月20日～2021年3月10日) 続き

【生花教室】

小原流：火曜日 初級12時半～14時、中級14時半～16時：2月2日・9日、3月2日  
草月流：木曜日 初級13時～14時半、中級15時～16時半：2月4日・11日、3月4日  
池坊流：水曜日 初級及び中級18時～19時半：2月10日、3月3日・10日

【書道教室】

開催日(木曜日・かな中心コース)：2月4日～3月25日まで(2月18日・25日を除く)  
18時～19時半 受講料：6回コースに対し120€

【布ぞうりワークショップ】

開催日(金曜日)：3月5日・12日 14時～17時、受講料：2回コースに対し45€

【折り紙アトリエ】

開催日(水曜日)：2月17日・24日 7歳以下：14時半～15時15分、3€  
8歳以上及び大人：15時半～17時、6€

【日本舞踊教室】

開催日(水曜日)：3月3日～31日まで 15時半～17時 受講料：5回コースに対し着物レンタル付125€、レンタル無し100€

【日本庭園入門講座】

開催日(水曜日)：3月3日～24日まで 15時半～17時 受講料：4回コースに対し120€

【日本画入門講座】

開催日(金曜日)：2月5日～3月26日(2月19日・26日を除く) 18時～20時 受講料：6回コースに対し249€

【日本文化体験アトリエ】

日本文化を垣間見ることができる体験アトリエです。お道具は全て貸し出し制です。  
※登録権利は各分野一回のみとなります。

・いけばな

開催日(土曜日)：2月13日・20日・27日、16時～17時半  
受講料：3セッション1コース 60€

【日仏バイリンガル子ども対象日本語アトリエ】

DULALAアソシエーションによる日仏バイリンガルの子ども3-6歳対象の日本語教室。  
詳細は当館サイト、または、アソシエーションのサイトをご覧ください。

■日本語事業部では、フランスの日本語学習者、日本語教師の方、そして広く日本語教育に関心をお持ちの方々を対象に、さまざまな日本語教育事業を行っています。

【お問い合わせ先】 教師相談：nihongo.contact@mcjp.fr 日本語講座：koza@mcjp.fr

【日本語教師向け情報】

下記「日本語教師向け情報」ページに、会館日本語事業について最新情報を掲載しております。オンライン日本語教師研修会の情報もこちらをご参照ください。

<https://sites.google.com/site/nihongomcjp/>

【教師相談】

教授法、教材、教室活動等、日本語教師が抱える問題点について個別相談に応じます。メール、電話、オンラインでのビデオチャットでの相談も受け付けています。対応可能な範囲で随時(希望日の1週間前までに当館日本語サイト「日本語教師向け情報」ページからお問い合わせください。) 料金：無料、要予約

<https://sites.google.com/site/nihongomcjp/>

【日本語講座】

当館では、成人を対象にした日本語講座(入門～中級)を開講しています。次期講座(2021年春学期)は2021年3月2日～7月10日です。詳細は以下のサイトに順次お知らせしております。(原則、こちらは会館での対面授業となっておりますが、秋学期はオンラインで授業が実施されました。春学期も新型コロナの感染状況次第でオンラインで授業が行われる可能性がありますことをご理解ください)

<http://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais>

※すでに日本語をある程度ご存じの方は、プレースメントテスト(無料)を受けてください。レベルに合ったクラスをご案内します。お申し込み、お問い合わせは「日本語講座」までお願い致します。

・JFにほんごeラーニング みなと

日本語コースやサイト、アプリ、学習者コミュニティなどが利用できるサイト「みなと」(<https://minato-jf.jp/>)を公開しています。「まるごと」をオンラインで学習できるコース(A1～A2.2レベルが開講中)を始め、ひらがな・カタカナのコース、まんがや俳句をテーマにしたコースなど、多彩な日本語オンラインコースを開講中です。

・まるごと自習コース(レベルA1.1, A1.2)

好きな時間にお好きな場所で一人で学べる無料コースです。フランス語版も開講しています。初めて日本語を習う知人・友人の方にぜひご紹介ください。詳細や登録方法については以下をご覧ください。

[https://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais/cours-en-ligne\\_1](https://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais/cours-en-ligne_1)

・まるごと教師サポート付きコース(レベルA1.1)

まるごと自習コースに、ライブレッスン、課題添削、オーラルテストなどの教師サポートがついたオンラインの有料コースです。募集は2月5日～3月3日まで。遠方に居住する、会館に通うことのできないお知り合いの方にご紹介ください。詳細は2月5日以降に「みなと」(<https://minato-jf.jp/>)をご覧ください。

<パリ日本文化会館の催しに関するお問い合わせ>

問合せ：TEL 01 44 37 95 01 FAX 01 44 37 95 15

所在地：101 bis, quai Branly, 75015 Paris

<http://www.mcjp.fr/>

\*日本人会発行のAMICJカードの提示でMCJP会員価格の適用が受けられます。

特別連載 パリの画家たち

1965年

船旅は港みなどに出会いあり画帳埋めきりマルセイユ 朝

森山 佳久子 Kakuko MORIYAMA



Boulogne のアトリエ

1965年4月23日朝6時甲板にでてみるとフランス客船ラオス号はマルセイユ港に着岸していた。横浜港を出港して1ヶ月の船旅である。父方の祖父も1920年9月政府に派遣され日本郵船横浜丸で横浜港を出港。同じ航路でイギリスに向かう途中祖母宛ての便りに「船の上は退屈なもので朝6時頃起きお茶を飲み暫くデッキの上を散歩して居る内に8時の鐘がなると朝飯です…」とあるが私は全く退屈しなかった。香港、サイゴン、シンガポール..と寄港の度に街々をスケッチしたりスエズ運河通過中カイロにある国立美術館やラクダに揺られてピラミッド見学など充実した毎日。自由渡航第一号なので船仲間もインドに癩病患者の治療にゆく医学生達、パリやイタリア留学を目指す若者達との出会いは多いに刺激になった。



祖父の船旅1920年

翌朝パリ。画家でのち夫になる森山裕之がホテルを予約してくれていた。

一日7フラン。小さなベッド、日曜日にはお湯がでる洗面台、戸棚、机と椅子。料理はキャンピングガスで。公衆浴場も近くに便利。5月1日マロニエの花が一斉に満開。これぞパリと感激。

こんなある日森山の親友ドイツ人画家ベルンが昼食に呼んでくれたというので待ち合わせのplace de la Contrescarpeのカフェへ。彼は26歳背が高くブロード、ブルーの優しい眼差し。「このカフェにはヘミングウェイもよく来てたんだよ。」と教えてくれた。ヘミングウェイ著作

「Paris est une fête」の最初のページにこのカフェのことが出てくる。彼はすぐ側の古ぼけたアパートの天窓のある屋根裏部屋をアトリエにしている窓から広場が眺められこんな部屋に住みたいと思った。電気コンロで炒めたジャガイモと肉が皿にもられソーセージとチーズとワインのご馳走。話が弾み1963年8月の彫刻家ジャコメッティとのエピソードに...

猛暑の夕刻Café Dôme で二人で飲んでいたら近くでジャコメッティが知人とワインを前に話しこんでいた。が手は絶えず紙ナップの上を走らせながら..しばらくしてふと見ると二人共いなくなっている。

森山が素早く瓶やグラスを除けデッサンが一杯描かれている紙ナップを引き抜くと半分わけ。嬉しくてビールで乾杯していたらまたジャコメッティが戻っているのんびりデッサンを探す様子もない。

ベルンが「サインしてもらおうよ」とポケットからデッサンを出す。森山も「サインお願いします」と酔っ払いの度胸で2枚のデッサンを差し出すとジャコメッティは「いるんだよ。いたずら者」と取り上げてしまった。このままでは引き下がれぬと「5分間だけポーズをしてください」と給仕にメニューの紙を貰い裏の白紙に二人でポートレートを描いたのだという。ジャコメッティも笑って5分間ポーズしてくれたところが凄いと思った。

ベルンは「自分が悪かった。懐に確かにあった広い紙一杯のジャコメッティのデッサンが！」と頭をかかえ森山は頭冷やしてノートルダム寺院前のMontebello岸からセーヌに飛び込み向こう岸まで泳ぎきった。水もしたたか飲んで。

夕涼みしていた人たちが「Bravo ! と拍手していたそうだ。

森山もベルンも亡き今とても懐かしい思い出となっている。(連載その1)



森山とGiacometti



より正確に、より易しく、より詳しく！  
各種トラブルに専門家が答える

Plafond de Sécurité Sociale, SMIC, MG

- Sécu (2021年1月1日-12月31日) 月額：3428 年額：41136
- SMIC 時給：10.25 月額：1554.58 (brut/週35h労働)
- MG 3.65 \*単位はユーロ

滞在相談室からの報告：

所得申告・申告用紙各種・課税対象額・家族指数・所得税etcの知識 (3)

= SMICその他の数字・指標と各種の滞在許可証 (11) =

(3) 課税対象額 (REVENU NET IMPOSABLE) (前号より続く)

申告額－経費＝課税対象額です。

①SALARIE (給与収入者) の場合。

定率10%の控除です。申告額100には、90が課税対象額とされます。

②日本からの年金、感謝料、生活送金などの場合。

上記①と同じです。申告額100には、90が課税対象額とされます。

③AUTO-ENTREPRENEUR(A-E)、ARTISTE-AUTEUR、PROFESSION LIBERALE(PL)などNON-SALAIRES (非給与収入) の自営業者。

「MICRO BNC」という申告枠を利用すれば、自動的に34%の経費控除になります。

具体的には、申告用紙「2042C PRO」の5HQという欄です。この欄へ申告数字を記入すると自動的に34%が差し引かれて、66%が課税対象額とされます。

なお「MICRO BNC」は年収72500ユーロが上限です。

同様に「MICRO BIC」(BENEFICES INDUSRIELS-COMMERCIAUX (商工業収入) は、自動的に71%の経費控除、29%が課税対象額です。年商176200ユーロが上限です。また、「MICRO BIC」の中には物品の製造・販売ではなく、サービス業があります。これは、PRESTATION DE SERVICE (サービス業収入) といい、自動的に50%控除です。年収72500ユーロが上限です。

上限を超えた場合は、DECLARATION CONTROLEE (FRAIS REEL)という職業経費の実費精算方式になり、会計士が必要になります。

④「自動的に、、、」とは。

職業経費の明細を必要としない、ということです。申告用紙「2042C PRO」の「MICRO BNC」欄、

「MICRO BIC」欄に記入することが、それぞれ34%、50%、71%の職業経費の控除になります。

(4) 所得税 (IMPOT SUR LES REVENUS)が発生しない無税ライン

申告額ではなく課税対象額 (REVENU NET IMPOSABLE) から、所得税は算出されます。また、その算出には「家族指数」(NOMBRE DE PARTS) が関わってきます。

以下に紹介するのは、所得税 (IMPOT SUR LES REVENUS)が発生しない (税額ゼロとなる) 課税対象額数字 (REVENU NET IMPOSABLE) です。

- ①単身者 (家族指数「1」) 1 5 3 0 4ユーロ
- ②母 (父) 子家庭で子ども一人 (家族指数「1. 5」) 2 0 3 3 6ユーロ
- ③夫婦 (PACS含む) 子どもなし (家族指数「2. 0」) 2 8 5 6 1ユーロ
- ④夫婦 (PACS含む) +子ども一人 (家族指数「2. 5」) 3 3 5 9 3ユーロ
- ⑤夫婦 (PACS含む) +子ども二人 (家族指数「3. 0」) 3 8 6 2 5ユーロ

以上は、2020年度版 (2019年度所得の申告) です。毎年、微改定されます。サイトではN°2041NKという申告手引き案内で確認できます。全35～6ページの案内ですが、その中頃の16～7ページ目にFICHE DE CALCULS (諸指標数字一覧表) があります。(以下、次号)

文責 滞在相談室 岡本 宏嗣

＜子ども図書館 活動＞  
読み聞かせボランティアの方を  
求めています

毎週水曜日の子ども図書館活動では、読み聞かせをしていただくボランティアの方を求めています。教室を使った読み聞かせとともに、図書の整理、購入図書の候補選びなどもお願いしています。教室では、テーブル等の消毒など新型コロナ (Covid-19) 対策を行っています。

現時点では、18時からの夜間外出制限の関連もあり、活動時間は12時から14時となっています。時間の変更は「日本人会からのお知らせ」にてお知らせします。

ご協力のほどよろしくお祈いします。  
連絡先 : Tel 01 47 23 33 58  
contact@nihonjinkai.fr



キッズテニス会員募集

小学生から大人まで  
会員を募集しています

- 一般クラス : 火曜日14時から16時/  
木曜日12時から14時
- キッズテニス : 火曜日17時から19時/  
金曜日17時から19時

場所 : Stade Henry de Montherlant  
32 Bd Lannes 75016 Paris  
問い合わせ : amicalejaponaistc@yahoo.fr

店頭引き取りも、  
ご自宅等への発送も、  
オンライン販売をご利用ください。

<https://www.junku.fr>



営業時間 10時～19時 月～土

Librairie japonaise JUNKUDO  
18 rue des Pyramides  
75001 Paris France  
Tel: 01 42 60 89 12  
Mail: contact@junku.fr

パリ歴史探偵



『パリ歴史探偵』  
宮下志朗 著  
講談社学術文庫

文化教養学園幼稚園パリ分園

1981年開園。日仏の文化にふれながら豊かな情操を養います。  
3年保育。2才児特別クラス。  
水曜クラス。各種幼児教室も併設。

10 Rue du Bouquet de Longchamp 75116 Paris  
TEL.FAX 01 4553-7895  
お問い合わせは雁金まで  
<http://www.bounkakyoyoparis.com/>

## 日本人会活動案内 -各種相談室・講座・活動-

## 各種相談(会員のみのみ)

\*要予約(電話に限る): 01.47.23.33.58

## 法律相談(フランスの法律問題)(相談料5ユーロ\*)

事前予約の上、電話で相談を受け付けます。

法律上のトラブルを抱えている方は、必ず関係書類をご用意ください。相談内容は職業上の守秘義務により厳守されます。予約は相談日の1ヶ月前から受け付けます。

## 滞在相談

日本人会にメールでお問い合わせください。

滞在・労働・商業の3許可、自由職業(PL)、滞在身分の変更、SECURITE SOCIALE、フランスの年金/日仏社会保障協定など各種ジャンルの相談に応じます(関連書類がある場合は必ずご持参ください)。

## 健康相談

お問い合わせください。日本語の堪能なDOUIEB医師(内科・産科)担当。

## 保険相談

住宅・自動車から疾病・高齢保険まで専門家があらゆる相談に応じます。毎月第1火曜日

## 無料メンタル・カウンセリング

毎月第3金曜日10h~17h

場所: 邦人医療相談室 59, Bd. Victor 75015 Paris

担当: 太田博昭医師(精神科)

カウンセリング希望の方は直接TEL:01-4533-2783に予約を入れてください。なお上記の日時以外のカウンセリングは有料です。

## 日本人会子ども発達相談室

子どもの発達に関する相談に応じます。

相談日など応相談。 会場: 日本人会

相談員: 認定心理士 折口志都、臨床心理士 関口弥希。kodomofr@gmail.com

## クラブ活動

## ふらんす俳句会

有季定型を基調に句作の楽しみを味わっています。

## 子ども図書館

読み聞かせ 毎週水曜日13h~15h。日本語児童図書の貸出・返却は随時。入会金2ユーロ

## S.O.S. ママクラブに入会しませんか?

母親間の親睦を図る相互託児システムのクラブ。入会申込書は日本人会へご請求ください。TEL 01-47-23-33-58

## 女声コーラス「みもぞ」

仲間とハモって、楽しいひとときをすごしませんか。

日本の歌、ミサ曲など。毎週火曜14h~16h30、Centre Catholique Japonais de Paris / 4 bd Edgar Quinet 75014 Paris にて。frmimosaxblog.jpを参考に。

連絡TEL 06-76-41-79-61(長谷川)、メール:mimosafrance@gmail.com

\*外出制限、コロナの影響で変更があり得ますので詳細は上記までお問い合わせ下さい。

## 日本人会アーティストクラブ(NAC)

日本人会会員の美術系アーティストのクラブ。年会費16ユーロ。NAC月例親睦会LE GALLIERAカフェにて毎月第1木曜18h~20h。飲み物代各自負担。詳細は日本人会までお問い合わせください。

## マロニエの会

毎月第2火曜日15h~18h茶話会、第3日曜日&amp;第4水曜日14h30~国際大学都市「日本館」で月例会。会報を年3回送付。年会費15ユーロ。連絡TEL: 01-46-58-57-99(安本) 01-49-15-08-73(二口)

## ソフトボール大会

春秋の年2大会あり。年齢・性別・国籍に関係なく、個人またはチームでの参加可。

連絡実行委員長 代理 橋本 勝義 TEL: 06-14-73-37-31

## キッズテニス

ARJ16 Tennis Club (Stade Henry de Montherlant : 32 Bd. Lannes 75016 Paris)

キッズテニス 小学生から高校生

毎週火曜、金曜日

一般クラス

毎週火曜、木曜日

随時、会員募集中です。 お問い合わせ amicalejaponaistc@yahoo.fr

## 各種講座

## 書道同好会

毎週木曜日の14h~16h 参加費: 月20ユーロ 代表: MARTIN 安本年子

TEL: 01-46-58-57-99 国際大学都市「日本館」

## くもん日本人会教室

水曜日15h30~18h30 土曜日13h00~17h00 詳細はTEL: 06-5252-2801 (石川)

## パソコン教室

連絡先: シュークルキューブ テクノロジーズ 担当: 佐藤 TEL:01-45-20-86-81

FAX:09-59-81-59-63 メール:education@sucrecube.fr

http://www.sucrecube.fr

## シャンソンDidier教室

第2・4土曜日16h~18h

パンデミックのせいで、去年11月より教室は休講になっていますが、状況が好転すれば、2月からでもすぐに開講できるように準備しています。

2月・3月とも、通常どおり第2・第4土曜日の13日と27日ですが、時間は14時~16時です。

場所: MPAA La Canopée (Les Halles)

住所: 10 passage de la canopée 75001 Paris

年会費100€ レッスン1回8€ (非会員は15€)

連絡先: ch.tanaka@orange.fr

01 4329 5235 / 06 0383 2674 (田中) 01 4229 1072 (山口)

## 太極拳・気功教室

上・中級クラス 日曜17h~18h 初級クラス日曜18h~19h 会場: 54,rue Emeriau 75015

Paris 参加費: 40ユーロ/月4回。非会員も参加可。但し45ユーロ/月。太極拳・気功の他に簡単

に見つかる針、マッサージのツボ探し、健康自己管理の知識等も指導。講師/連絡先: ラン光旭

(パリ第6大学医学大学院利気功・太極拳講師)

TEL:06-69-43-54-45 メール:rangxu@yahoo.co.jp

## 健康と美・ウォーキングレッスン

元パリミラノ東京コレモデル/現役モデルによるウォーキング・写真のポージング・メ

イキャップ・Before &amp; Afterなどニーズに合わせた個人レッスン。(コース3回会員

180ユーロ・非会員別途料金) 詳細はお問い合わせください。講師: 北幸子 (Master

Models,Oasis Styling) facustudio@gmail.com TEL:06-2296-0655

## フランス語朗読会

現代仏文学を朗読することによってフランスの文化に親しむ会。定員5名。

参加費: 週1回1時間10ユーロ。1回目は無料。場所: Place Monge界隈(パリ5区)

時間: 月曜14h~、水曜15h~、金曜15h~、日曜11h~。

現況ではSkype参加がおすすめです。

お問い合わせ: ch.tanaka@orange.fr(田中千春)

## 子供のための習字教室

土曜クラス: 毎週土曜12h~13h、13h30~14h30。場所: 日本人会 授業料: 月毎

に前納払い(1回15ユーロ)(日本人会会員料金)。入学随時受付。

お問い合わせ: 六藤佳世子 06-22-53-74-18 kayoko94000@yahoo.co.jp

## 日本館茶の湯同好会

場所: 国際大学都市「日本館」

稽古: 感染状況を鑑み、現在お稽古場でのお稽古は休止しております。

ズームによる懇親会・稽古会開催予定。

感染状況の改まり次第、対面稽古(予約制)再開。

詳細はメールにてお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。(高木宗悠)

nihonkan.cyanoyu@gmail.com

## 成人学習者向け日本語講座

第2、第5土曜日10h00~12h00 Faux débutantのクラス 会場: 日本人会 問い合

合わせ&amp;申し込み: nihongocafe022015@gmail.com

## ヨガ教室 当面のところオンラインレッスンと個人レッスン 詳細はメールにて

日時: 月曜日10h30~11h30、火曜日10h30~11h30/19h~20h、木曜日16h~

17h 会場: パリ7区 対象者: 全てのレベル 参加費: 1時間30€から

講師: ラロッシュ・アメリ 問い合わせ・申込み: info@vacances-amelie.com (日仏)

※在仏日本人会法人会員名簿は、インターネット・サイトに掲載されています。

日本人会ホームページの次のリンクをご利用ください。

<https://zaifutsunihonjinkai.fr/about-nihonjinkai/houjin-kaiin/>

amicJ協賛店一覧はこちらのサイトを参照ください。

<https://zaifutsunihonjinkai.fr/members-service/amic-j-card/>

日本の企業と個人向けに企業、災害、賠償、  
運輸、医療、その他保険のことなら  
何でもランポラブロスへどうぞご連絡下さい

91, rue Saint-Lazare 75009 PARIS

TEL.01.53.32.20.00 まで

FAX.01.42.85.04.65

M 今日はテレビの番組について話しましょう。  
 E テレビを持っていないとおっしゃっていたのに。  
 M テレビを持っていませんがYoutubeを見えています。  
 E どの番組ですか。  
 M 新しいタレントを見つけ出す番組\*です。  
 E 新しい番組ですか。  
 M いいえ、15年前にアメリカの人気番組(America's got talent)を真似て始めました。  
 E 面白いですか。  
 M 今年は、Lefèvre家族が思いがけなく優勝者となりました。  
 E その家族のタレントというのはなんですか。  
 M 両親と6人子供が合唱で歌っています。The Sound of Musicの映画を思い出させます。  
 E 他のグループも歌なのですか。  
 M 色々あります。アクロバット、マジシャン、ダンサー。  
 E どのようにして優勝者を決めますか。  
 M 視聴者の投票です。  
 E 候補者は多かったのですか。  
 M 最初は百組以上らしいですね。そして、回が進んでいって数は減ります。最後には13組しか残っていません。  
 E それで投票の結果は。  
 M Lefèvre家族は観衆の投票の30%を得ました。第2位のアクロバットの組は13%でした。  
 E アメリカの選挙と違ってはっきりした勝利ですね。  
 M しかし、twitterとfacebookで不満の声と厳しい批判が出ました。  
 E 結果に納得いかない人でしょう。でも視聴者の投票ですね。



**Michel BRUNEAU**  
 (ミッシェル・ブリュノー 会友)  
 当会フランス語講座講師  
 1978~98年日本に滞在 元上智大学講師

M 第一の批判は、Lefèvre家族が宗教音楽の曲を歌ったことです。  
 E でもちょうどクリスマスの時期でしょう。  
 M 第二は、白人の昔風の家族が嫌われているということです。今の時代に合わない。今は、新しい形の家族と混血を称賛しなければなりません。そして宗教をおおやけに表してはいけません。信仰を隠さなければなりません。  
 E でもここは政治の話ではなく、コンクールですから、大事なことは発表の質でしょう。そして視聴者の投票。観衆が感動して選んだのだから、批判する意味はないでしょう。  
 M 観衆の反応は正しいと思います。愛に満ちた家族を見て、音楽の美しさを聞いて感動しました。多くの近代美術は美術とは言えないでしょう。美を求めるより、メッセージを送ります。  
 E つまり、観衆は興奮より愛と平和を選んだ。それはNoël-クリスマスにふさわしかったでしょう。  
 M Youtubeで、Famille Lefèvreの「Dormi Jesu」を聴いてください。  
<https://youtu.be/X6r4DnVAuYY>  
 「Dormi Jesu」はノルウェーの若い作曲家Kim André Arnesen\*\*の素晴らしいクリスマスの曲です。  
 彼のもう一つの素晴らしい曲「Cradle Hymn」もYoutubeで聞けます。  
<https://youtu.be/F003sSzwS0>

\*M6のテレビ番組。「La France a un incroyable talent」のこと。2006年より放映。

\*\*キム・アンドレ・アルネセン(Kim André Arnesen)：ノルウェーの作曲家。1980年11月28日生まれ。「無限に：合唱曲集」など。



### 【重要】滞在許可証をすられてしまった場合の再発行オンライン手続き(続編)



会報285号にて、滞在許可証をすられてしまった場合の再発行手続き開始サイトを下記のようにご案内し、必要書類を明示しました。

\*\*\*\*\*

<https://contacts-demarches.interieur.gouv.fr/etrangers/demande-de-duplicata/>

盗られた場所に近しい警察署に赴き、récépissé de déclaration(届出の受取り書)と身分証明書の盗難のみを扱った書類を受け取ります。それらをネット上から送ることになります。その後2ヶ月ほど(現在の状況)して、呼び出し状が返信されてきます。

\*\*\*\*\*

その後、実際にこのサイトを利用して、なんとか再発行の滞在許可証を入手した会員の方がおられますので、説明いただいた流れをここに記します。この方はパリ在住者です。

上記のサイトを通じて必要書類送付後、パスポート・写真・黒のペンを持参したうえで、指紋採取のためにPréfecture de Policeに出頭するようにメールにて連絡を受ける。場所はSalle 01とのメールでの指定であったそうですが、実際はSalle des documents des voyagesとのこと。

注意点として、写真は眼鏡を外したものでなければ不可。

(呼び出し日に行かれない場合には、その旨Préfecture de Policeに連絡する必要あり)

呼び出しに出頭し、パスポートと写真を提出、指紋採取を終えた翌日に、SMSで、「手続きが完了したので滞在許可証の受け取りのための呼出状を送る」とのメッセージを受信。

そして、1ヶ月半後に、再びSMSを受信。これには、Préfecture de PoliceサイトにあるRessortissants étrangersの項目から予約(RDV)を取るようとの指示あり。ネットで収入印紙(Timbre fiscal)を購入。指定のRDVのページに進んで、日付を選択決定。そして出頭。

当日持参する書類は、

- ・パスポート
- ・Récépissé de déclaration de vol オリジナル
- ・Récépissé de déclaration de demande de titre de séjour ou autorisation provisoire de séjour オリジナル  
(これは最初の呼び出しの時に入手。もしくは呼出状で代用)
- ・すられてしまった滞在許可証のコピー

最後のすられてしまった滞在許可証のコピーは、最初のネットでの手続き開始時には必要だったようですが、再発行の受け取り指示メッセージに明示されていなかったにもかかわらず要求されたとのことなので、いずれにせよ常に所有の滞在許可証のコピーをとっておくことは重要です。



終(ついに)のデザインのススメ

己の最後を決めるための  
日本における相続・遺言の基礎知識 (41)  
(日仏間も視野に入れて)

遺言作成、って難しい!?

日本人であれば、海外、フランス在住の方でも、当然に日本法に則った遺言の作成は可能であり有効です。そこで、日本民法が改正され自筆証書遺言が作成し易くなった、つまり遺言の一部である財産目録だけはワープロ印字での作成(署名・押印付)が可能、と紹介しました(会報No.275号参照)。日本国内でもこの改正はテレビ、新聞その他各メディアで結構取り上げられ話題となりました。その結果、困ったビックリなことも起こっています。

◆「自筆証書遺言を作成しました〜、見てください!」

と以前から遺言作成の相談中の東京在住のYさんが、事前の連絡もなく、Yさん作成の「全文ワープロ打ち、押印」の遺言を送ってきました。昨年11月のことです。5年前にご主人が急逝しその後も自身のケガや病気で入院する等不幸続きで、遺言案文はYさんの手元にありましたが、一向にそれを検討して完成するには至ってませんでした。

前触れもなく送りつけられたYさんの全文ワープロ打ち遺言を見てギョっとして、すぐにYさんに電話。すると、Yさんはつい先日スーパーの入口で転倒し利き手の右手小指を骨折、いつ自分がどうなるかわからぬと焦り、漸く小指が動かせるようになり慌てて遺言を作ることにした、とのこと。「なぜ、全文ワープロ打ちなのですか?!」と尋ねると、『え?先生、自筆遺言がワープロ打ちで大丈夫になったとテレビで解説してたから、全部ワープロで作りました〜!』とYさんのお返事。70歳のYさん。60過ぎまでお仕事をされ今も地域活動を主催する結構しっかりした人のはず…。

「普通の人にとって、遺言をちゃんと(正確・的確に)書くのは至難の業かも…」と思い知らされた出来事でした。

◆自筆証書遺言は、やっぱり自筆が必要です!

日本の自筆証書は、確かに財産目録だけがワープロ打ちが可能となりましたが、本文は自分の手で書き、日付、署名も自筆し押印が必要です。(なお、フランスのLe testament olographe(自筆証書遺言)は、変わらず「全て自筆」で作成です)「財産目録だけがワープロ打ちOK」との日本民法の改正点を、遺言全部がワープロ打ち可能と勘違いして、上述のYさんのごとく、結構な数の方が全文ワープロ打ちの遺言を作り、残念ながら無効な遺言を後生大事に保管しているのかもしれない、と不安になりました。自力で遺言を書くのはいいけれど、遺言の「形式(方式)」も「内容」も的確にするというのは、専門家の支援なしではやはり難しいのかもしれませんが。今回の日本民法の改正の紹介が、無効な遺言の量産になってはならぬと思い、日本方式で自筆証書遺言を書く場合の警鐘として、「遺言の『本文』は自筆です!」と、改めて年初にお伝えする次第です。

◆遺言を作るなら、やはり専門家に相談しましょう

これまででも、遺言や相続について紹介しながら、専門家への相談はしたほうが良いとお伝えしてきました。専門家に相談するのは料金がかかる、心理的なハードルが高いかもしれませんが、しかし、その金員や労を惜しみ上述のような間違いをして遺言が無効では、元も子もないのです。また、つい最近も弁護士と打合せをした際、世間話として前回ご紹介した遺言の保管制度に話が及ぶと、その弁護士は、「素人の人が作り専門家のチェックの入らない遺言がそのまま保管というのは、実に危険で紛争の元だと危惧しているんです。まあ、紛争は我々(弁護士)の仕事にもなるけど…」と言っていたのです。前回も書きましたが、法務局に遺言の保管OKは内容が必ずしも有効・的確にあらず、です(会報No.286号参照)

改めて、法律の専門家でない方々が、溢れる情報を正確に理解したうえで遺言を書くことは、本当に難しいのでは、と考えます。難しいだけなのなのですが、上述の弁護士の言にあるように、遺言が家族の関係を壊し紛争の種となる危険もあり得ます。

年初に遺言を書いてみる、書き直し予定の方への改めてのお願いです。面倒だと思わず、やはり然るべき専門家に相談をしていただければ、と思います。



司法書士 桑瀬 登起子(くわせ ときこ 会員)  
Consulting Office 桑瀬  
TEL: 03-3354-0445/FAX: 03-5363-8971  
〒160-0008 東京都新宿区三栄町7-3-202号

謹賀新年  
—補習校だより—



想定外で新年を日本で迎えました。予定では日本を出発しているはずだったのですが、規定変更があり、延期せざるを得ず…。日本での年越しはうれしいのですが、授業はどうする? 実家でするしかありません。教科書もパソコンもないけど、先生たちにスキャンを送ってもらったり、送信済みのメールを見たり、家にあった習字道具を使ったりして、何とか準備ができました。

WiFiルーターをレンタルしていたのが幸いし、スマホでオンライン授業をすることができました。オンラインを始めて1か月。今度は時差を越えての遠隔授業。こたつ、鏡餅、仏壇などを見せ、ちょっと違った授業に…。

ここで今、何ができるか、どうするかを考える。そしたら、何ができそうです。

久しぶりに筆を持ち、姿勢を良くすると字がきれいになるなと思えました。

廣重 幸美



家に籠って仕事するという選択の余地のない生活に疲れた時、医療に携わる人、仕事を失った人、学業や仕事に羽ばたけない若者ら、より大変な人々を思い、世界を巻き込んだこの長いトンネルの出口が早く見つかるよう、祈ります。

家において、猫と過ごす時間が多くなり、彼を見つめます。「吾唯足知」の境地で目を閉じています。「あらゆる神の創造物のうちで、言うことを聞かせられないのは猫だけだ」(マーク・トウェイン)、「しまった、寝過ぎた! 昼寝の時間に遅れるではないか」(漫画「ガーフィールド」)。ハイハイ、今年は丑年です。初詣によく行った京都の北野天満宮の境内の牛の像を思い出しながら、皆様、どうぞ良いお年を。

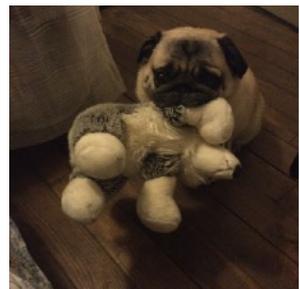
ワイルド令子

ぷうちゃんは、毎晩寝る前に一緒に寝るためのぬいぐるみをくわえて持って来ます。お気に入りのぬいぐるみが虎と狼で、今日はどちらと寝ようかしら、と真剣に選んでいる彼の姿を見ると本当に癒されます。

小学一年生の教科書に「ずうっと、ずうっと、大すぎだよ。」というお話があります。主人公の「ぼく」が教えてくれたこと。それは、尊い命を持って生きている今を大切に過ごすということです。ぷうちゃんと出会い、家族になって、このお話の「ぼく」の気持ちが、よりじわじわと分かるようになりました。

「おやすみ。また明日ね。愛してるよ。」。ぬいぐるみと遊びながら寝る準備をしているぷうちゃんに、私達夫婦は、そう言っています。そんな時間が、私達にとってかけがえのない、大変幸せな時間です。

西岡 緑



2021年が始まりました。まだ先が見えませんが、子供達は日々成長しています。こんな状況の中でも漢字を覚えて、音読の練習を一生懸命してくれています。私も負けないように、一日一日を大切に感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思えます。今年日本にも普通に行けるようになって、日本のおじいちゃん、おばあちゃんに子供達会えるようになってほしいです。日本の景色を見て、おいしい物を食べて、沢山のものを吸収してもらいたいです。

日本で流行しているという「塩レモン」を作ってみました。小さな喜び熟成を楽しみに毎日瓶を振っています。今年もよろしくお願ひ致します。

浜田 喜代香



クープラン生誕350年・特集2018年

## クープラン一族について &lt;14&gt;

クープランの研究から「バロック芸術」「ルイ14世宮廷」「ヴェルサイユ宮殿」に飛躍、更に「何故、日本に西洋音楽が入ってきたのか?」まで書物を読み漁る有様となりました。非常に興味深いことでしたが、クープランの言葉「記譜と奏法の相違は言葉の書き方と実際の発音が異なることに似ている」と同じ事柄が日本でも方言として存在するのですが、明治維新の日本近代化に「日本語の統一」がありました。

元号「令和」で万葉集などがおなじみになりましたが、文学や音楽で長く受け継がれたものを別として、「話し言葉の日本語」も住む地域が(隣村でさえ)異なると意思伝達が出来なかったのです。私もドイツで似た経験をしましたが、ロマンティック街道「ローテンブルクRothenburg」「ネルトリンゲンNorthringen」は有名で、その街道筋での中小都市同士は現在でも固有の方言があります。

江戸時代から明治維新に入る頃、標準語以前の共通話し言葉も無く、方言どころか「相互意思疎通」も困難でした。東京藝術大学音楽学部の前身「音楽取調掛」は伊澤修二と目賀田種太郎ら優秀な文部官僚の懸案でしたが、先ず「アイウエオ」の発音から整えないとならない時代が明治初期にありました。信じられない話で、未だ「大日本帝国憲法」が公布される前です。われわれ先人の努力により「日本は欧米諸国の植民地」にならずに済み、隣国からの嫉視も受けませんが、その一方、想像を絶する「発声と咽喉の関係」の解明にも及んだのです。方言の存在ばかりでなく、母音と子音の関係、母音の発音の仕方ひとつで、同じ国の人同士でも意思疎通が不可能になるのです。21世紀の現在、10代と20代同士が通じないということは「ア」を大きく口を上げた発音と狭くしたとは聞こえ方も違ってきますし、前後の語彙の関係で意味も変わるでしょう。それは年代の相違でもあり、時代の推移でもあろうかと思えます。

終戦直後、昭和22年頃、東京から下関まで夏休みを祖母の許で小学生の私と妹が過ごすことになり、東海道線と山陽線を20時間、乗車しておりました。私達が多分に心細がりにしていたので、前の席に鹿児島の方と思われる中年紳士が親切にいろいろと話しかけて下さったのですが、まるで理解できず、私達は顔を見合わせてばかりでした。又、芦屋出身の義伯母が私とは標準語で、隣にいる息子(私の従弟)とは芦屋の言葉で相手により使い分けているのでした。私の父は滋賀県出身、旧制三高、京都帝大卒なので京都弁に近い言葉でしたから同じようなものでした。

この度、クープランの言葉から私自身の経験、これらの方言の経験を懐かしく思い出し、そこに共通点を感じました。

さて、いよいよ楽譜解説執筆の段階で本題の「ノートイネガル・不等価音価」にピアノ演奏でひとつの決定的判断を下さねばなりません。標準語と方言の関係、年代による発音に相違、そこに気付いた私は、バロック様式に不可欠の「装飾記号解説」と「ノートイネガル・不等価音価」を「実用ピアノ楽譜」としては切り離さねばならないと思い始めました。

装飾記号解説には時代の変遷はありこそすれ、一定の基準で普遍的な理解が可能です。ノートイネガルは音楽に生命力と言うか、活き活きた感じ、或いはおしやりさせる技を吹き込む重要な手段の一つだと考えれば、狭義には演奏家個人の解釈表現であり、聴く人を納得させることが出来れば、それをどこにおけば良いか、楽譜に掲載する必要はない訳です。広義には、例え、誤解を招くとしても一定の基準で「ノートイネガル適用可能」を最低限の範囲を提案できることになります。最低限の範囲、即ち、基準が文献で示されていますから、楽器ピアノに相応しい音が聞こえれば良いでしょう。但し、楽器クラヴサンの模倣ではなく、ピアノに会う表現であるためには、規範というものが必要となれば、私が書くべきことが見えてきます。

装飾記号解説とノートイネガルの説明の仕方には、理解させる方法が具体的に違うのです。お料理に例えると「塩少々」「塩ひとつまみ」「塩1-2グラム」、火加減を「中まで火が通っている」「10分間火に通す」のように「アナログ」「デジタル」で言い表せます。音楽の場合、楽譜で明確に表出できるのが「譜例で示す」デジタルであり、解説助言で「文章で・・・の様な感じで」アナログとなるでしょう。

自ずと、装飾記号解説は小さく譜例で示すのが通例となり、ノートイネガルには校訂者が本楽譜から選別した個所に「3連符か付点音符のどちらでもが可能な」と言う緩い表現で、楽譜から理解できるのではないかと思います。実際、現在進めている《クープラン選集》をほぼその線で運び、令和3年には出版できるでしょう。



左：フランスのクラヴサン  
中：パスカル・タスカン制作のクラヴサン1769年  
右：バッハのチェンバロ作者不詳・18世紀

山崎 孝(やまざき たかし) 1937年生まれ。東京藝術大学卒業。ピアニスト

## グローバル時代のコミュニケーション

～国や文化を超えて真に信頼関係を作るコミュニケーション～

【第22回】

みなさまこんにちは。

少し時間が経ちましたが、新年おめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

コロナはなかなか落ち着きません。日本でも2回目の緊急事態宣言が発令されました。なかなか落ち着きませんね、もうしばらく収束にかりそうです。今世界はコロナだけでなく、地球温暖化、格差社会、人種、ジェンダー問題等色々困難な問題に直面しています。いろいろな考えが出てくるのは当然なのですが、自分が正しく他人は間違いだ・・という考えが分断を生み、さらに問題を複雑にしていると思います。これらを解決するには、いろいろな価値観からの意見を素直に聴き、みんなでどうなれば本当に幸福になるのかを考え、一致した方向で各人ができることをやっていくしかないと思います。

私はこれまでの経験から、国や世代を超えみんなが困難を乗り越え幸福になる手法としてコーチアプローチファシリテーションを開発し、このことについてお話をさせていただいてまいりました。今回は、年頭に私の思いと、なぜこのような考えに至ったかのお話しさせていただきたいと思ひます。

私が人材育成に携わるようになったのは、大前研一の会社で中国人マネージャーの教育を任された時からです。当時私はオフショアPBOビジネスプロセスアウトソース(日本の間接業務を中国人チームで行うことによるコスト削減)のビジネスを行っていました。私は日本国内の営業の仕事をやっていましたが、お客様からの不満は、中国側は契約にあることはこなすが、自発的な改善提案や契約以上に日本側の意図を組んだ対応をやってくれないということでした。中国人チームは優秀で、スキルも高いのですが契約にないことをするのはおかしい、それは日本の間違った価値観と一向にこちらの要望を受け入れてくれなかったのです。この中国側の考えは、このビジネスの本質にもかかわることになるので、当時コーチングやファシリテーションを組織で実行していた私が中国人マネージャーの教育に行くことになったのです。

ビジネススキルを教えることは簡単でした。論理的に効果があることが解ると、彼らはどんどん吸収し自分のチームでコーチングやファシリテーションを活用し生産性、離職率にも大きな効果が生まれました。しかしながら、日本人の気持ちを理解してもらうことはとても難しかったのです。彼らは合理的に契約通りに進んでいるので自分たちに問題はない、それ以上のことを要求する日本の考えこそグローバルの見地からみれば改善すべきとまで言ってきました。日本人の価値観がおかしいのだと・・・。

そこで私は人間の価値観はどのようにして生まれるのかを一生懸命研究しました。その結果、この問題の根本にあるのはどちらが正しいということではない。またなぜそのような考えかたになったのかを議論するのも無意味なことに気が付きました。人間は生まれた後、うまく生きていくことができた体験を無意識的に学習し、それを繰り返すためのプログラムができるということです。

つまり、国や文化にかかわらず、人間という動物は自分が生きていくために過去うまくいったことをいいという感覚に、うまくいかなかったことを不快に感じるように作られているということです。このことが分かれば、自分と他人は経験が違うのでなぜあの人はあのような行動をするのか?解らない、自分と違うからダメという感覚が生まれにくくなるのです。価値観は、立場の強いものが弱い物の価値観を捻じ曲げようとするのも本能です。しかしながら価値観は自分が生きていくために無意識にできたものだからこれを変えさせられるほどの恐怖はなく信頼関係は崩れてしまうのです。(これは国際間だけでなく日本人同士の上司と部下の価値観にもあてはまります)このことを互いに理解すること、両方の価値観を認めることこそが新しい価値観を生み信頼関係が生まれる唯一の方法と確信したのです。この価値観はどのようにしてできるかを知り、自分が固有の価値観を持っていることを自覚する。そして他人もその人の経験体験からの価値観を持っていることを認めること。これが第一歩です。これができると本当の意味での信頼関係が深まります。グローバルでご活躍されている皆様、きっとこの考え方が役に立つと確信しています。ですのでこの考えを広く広める活動をしています。次回からはCAFのもう一つの柱、ファシリテーションについてお話してまいります。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

大山裕之 コンティニュー株式会社 代表取締役社長  
社団法人コーチアプローチファシリテーター連盟 理事長  
国際コーチ連盟認定プロフェッショナルコーチ

場所と

人の出会い

[31]

### イザベル2世のおかげです：ガルニエのオペラ座の Grand foyer大休憩室が女性に解放された事件



Isabelle II 1830-1904



世界中のオペラ好きの憧れの劇場の一つ、パリのガルニエのオペラ座。建設は1860年代、ナポレオン3世の第二帝政時代の様式の代表的な建築で、特に客席とGrand foyerと呼ばれる休憩室の内装は息を飲むほどの豪華さです。建築途中でプロシャ戦争に負け、注文主のナポレオン3世は逃亡、帝政は倒され第三共和制になったところでパリコンミュンまで勃発するという動乱の中でようやく1875年に完成しました。皇帝皇后専用の貴賓席があるオペラ座なのに、第二帝政様式なのに、共和国になったフランスがそのまま建て続けさせたんですか？そうです、今さらやり直すわけにもいかなかったし、実はそれまで使っていた rue le Peletier のオペラ座が火事で全焼してしまい、とにかくオペラ劇場がないと困る、という事情がありました。



オペラ座

©Creative Commons, photo by Campus France

ガルニエのオペラ座の休憩室は、それまでになく大きく立派な部屋なので「大休憩室」と呼ばれるようになりしました。天井画も彫刻もすばらしい、という前評判が世界中に鳴りひびいていました。だからでしょう、幕間になるとイザベル2世は「大休憩室を見たい」と言い始めたのでした。「それはちょっと困ります。お席にてお待ちください」と主催者側。イザベル2世は怒ってしまい、わずかずかと大休憩室に向かって歩き出し、それに倣って他のご婦人がたもぞると歩き出し、全員大休憩室に入り込んで歓声をあげたそうです。1875年1月5日。この事件以来パリの劇場では、幕間に女性はどこでも自由に歩き回り、フォワイエにも入れるようになりました。それにしても、共和制の国が亡命している隣の国の女王をこけら落しに招いたというのが少し不自然な気がします。



Grand Foyer 大休憩室

©Creative Commons, l'auteur non identifié

というわけで1875年1月5日、マクマオン大統領が内外の要人2000人を招待してパリオペラ座のこけら落としが行われたのです。その招待者の中にパリに亡命中だったスペイン女王イザベル2世がいらしたのでした。そして「事件」は起こります。今から考えるととんでもない話なのですが、当時は劇場では女性は幕間にそのへんをうろろするものではなく、主に自分のボックス席にじっとして

いる、というしきりがあり、お友達に会いたい時はお互いのボックス席に招いていたのです。ボックス席がやたらと奥行きがあるのはそのためです。客席から見えないようにカーテンで仕切って、その奥でご婦人同士くつろげるようになっていたわけです。したがって、フォワイエと呼ばれる休憩室に入れるのは男性のみ。男性たちは休憩室でゆったりと屋間の商談の続きなどをしていたのです。今は幕間というのは30分くらいですが、当時は人力で背景や大道具を変えていたので1時間以上もあって、その間狭いボックス席でじっとしているということだったのです……。

このイザベル2世は3歳でスペイン女王になり、陰謀とクーデターの中で育ち、革命が起きて1868年にフランスに亡命してきたという苦勞人。なんだかかわいそう、というこちらの想いとは裏腹に、パリでの生活を大に楽しんでいたようで、特に音楽と美術を愛し、芸術家たちへの援助を惜しまず、当時は超前衛でひどい扱いだった印象派の画家たちを擁護したり、そしてもちろんオペラ座にも足繁く通い、今でいう「メセナ」活動もしていたという人物なので、オペラ座のこけら落としに招かないわけにいかなかったらしいのです。フランスは第二帝政から共和制へ、パリは古い街並みから新しい美しさのあるオスマンの街並みへ変わっていった時期。音楽や美術もちょうど大きな変わり目を迎えていた時に、新しい物事や考え方に惹かれ、新しい芸術を熱心に愛好していたイザベル2世がオペラガルニエの大休憩室に「どうしても見たいんです！」と言って入っていったこの事件は当然起こるべきことだったのかもしれない。観劇や見学でガルニエのオペラ座に行かれるなら、是非正面玄関の真上にある「大休憩室」に入ってイザベル2世のことを思い出してください。ついでに客席の見学の時に入るボックス席の奥行きのごささもご覧になってください。

ちなみにイザベル2世のパリのお屋敷はKléber通りの現ペンシユラホテルの前身の建物でした。パリに逃げてきてすぐ買ったそうです。ガルニエのオペラ座見学は毎日10時から15時30分まで。マチネ公演などで見学不可の場合もあるので、事前に<https://www.operadeparis.fr/> で確認を。

(執筆 小松その子 フランス国家公認ガイド)



冬あさし立て看板は「鳩退治」  
水鳥の沼の流れをかきみだす  
靴裏に土のべつたり冬あさし  
小さき園でかき地球を冬ざるる  
西伊豆の釣り人釣るは冬の月  
労働の冬をスープに託しけり  
清し女(すがしめ)の夢を編みつづ除夜の鐘  
ひとりぼち冬銀河見て童話めく  
枕辺に日の出を見ぬや冬めける  
人の世の日短のごと過ぎゆきし  
冬めくや眼鏡のくもり如何とす  
初雪に弾む子供姿あり  
着膨れの膝に丸まる猫二匹  
懐かしきことの増えつつ暖炉燃ゆ  
愛無限流れてゆこう新年を  
満開の寒菊の庭明日照らす  
日仏のまほらに栖みぬ大旦  
据置きぬ庭の仏陀や冬重  
黒猫の目に光増す冬の蝶  
初冬の街乳色の布纏ふ

自選句集 130 (入会順)

茜 茜 真美架 真美架 佳久子 佳久子 容子 容子 春代 春代 なをみ なをみ 万里 万里 麻紀 麻紀 勝義 勝義 ヨシ ヨシ

## 2021年新春フランス語講座 1月14日(木)~ 3月31日(水)

授業はSkypeを用いたオンライン授業となっております。途中からの受講も可能です。その場合には授業料を計算いたします。  
 またクラス選択のために2回まで無料体験をすることができます。受講は会員に限ります。  
 クラスは4人以上の参加をもって成立となります。詳しくは下記のサイトをご覧ください。  
<https://zaifutsunihonjinkai.fr/activities/coursdefrancais/>

| レベル      | 曜日  | 開始時間  | 終了時間  | 時間     | 講師       | 授業形態  | 授業回数 | 受講料金    |
|----------|-----|-------|-------|--------|----------|-------|------|---------|
| 入門 1     | 月   | 9:45  | 12:00 | 2時間15分 | Laurent  | オンライン | 11   | €247.50 |
| 入門 1     | 火   | 13:00 | 15:15 | 2時間15分 | Laurent  | オンライン | 11   | €247.50 |
| 入門 1     | 木   | 15:00 | 17:15 | 2時間15分 | Marine   | オンライン | 11   | €247.50 |
| 入門 1     | 金   | 9:45  | 11:15 | 1時間30分 | Laurent  | オンライン | 11   | €165    |
| 入門 2     | 月   | 12:30 | 14:45 | 2時間15分 | Florence | オンライン | 11   | €247.50 |
| 入門 2     | 月   | 16:30 | 18:45 | 2時間15分 | Marine   | オンライン | 11   | €247.50 |
| 入門 2     | 火   | 9:45  | 12:00 | 2時間15分 | Marine   | オンライン | 11   | €247.50 |
| 入門 2     | 火   | 14:30 | 16:45 | 2時間15分 | Marine   | オンライン | 11   | €247.50 |
| 入門 2     | 木   | 9:45  | 12:00 | 2時間15分 | Laurent  | オンライン | 11   | €247.50 |
| A1       | 水   | 9:45  | 12:00 | 2時間15分 | Laurent  | オンライン | 11   | €247.50 |
| A2       | 火/木 | 12:30 | 13:45 | 2時間30分 | Muriel   | オンライン | 22   | €275    |
| A2       | 月/木 | 9:45  | 12:00 | 4時間30分 | Florence | オンライン | 22   | €495    |
| B1       | 金   | 13:00 | 15:15 | 2時間15分 | Laurent  | オンライン | 11   | €247.50 |
|          |     |       |       |        |          |       |      |         |
| DELTA A2 | 木   | 17:00 | 18:30 | 1時間30分 | Muriel   | オンライン | 11   | €247.50 |
| DELTA B1 | 水   | 17:00 | 18:30 | 1時間30分 | Muriel   | オンライン | 11   | €247.50 |
| DELTA B2 | 火   | 17:15 | 18:45 | 1時間30分 | Muriel   | オンライン | 11   | €247.50 |
| DELTA C1 | 月   | 17:15 | 18:45 | 1時間30分 | Muriel   | オンライン | 11   | €247.50 |
|          |     |       |       |        |          |       |      |         |
| 会話 A1    | 火   | 9:30  | 11:00 | 1時間30分 | Laurent  | オンライン | 11   | €165    |
| 会話 A2    | 木   | 12:30 | 14:45 | 2時間15分 | Laurent  | オンライン | 11   | €247.50 |
| 会話 A2    | 金   | 9:45  | 12:00 | 2時間15分 | Muriel   | オンライン | 11   | €247.50 |
| 会話 B2    | 月   | 11:00 | 12:15 | 2時間15分 | Muriel   | オンライン | 11   | €247.50 |
| 会話 B2    | 月   | 14:00 | 15:00 | 2時間15分 | Muriel   | オンライン | 11   | €247.50 |
| 会話入門 2   | 水   | 12:30 | 14:00 | 1時間30分 | Marine   | オンライン | 11   | €165    |
|          |     |       |       |        |          |       |      |         |
| キッズ入門 1  | 金   | 17:00 | 17:45 | 45分    | Laurent  | オンライン | 11   | €82.50  |
| キッズ入門 2  | 金   | 17:55 | 18:40 | 45分    | Laurent  | オンライン | 11   | €82.50  |
|          |     |       |       |        |          |       |      |         |
| 夜間入門 1   | 月   | 19:00 | 20:30 | 1時間30分 | Laurent  | オンライン | 11   | €247.50 |
| 夜間 A1    | 火/木 | 19:00 | 20:30 | 3時間    | Muriel   | オンライン | 22   | €495    |
| 夜間 A1    | 金   | 19:00 | 20:30 | 1時間30分 | Laurent  | オンライン | 11   | €247.50 |
| 夜間 A2    | 火   | 19:00 | 20:30 | 1時間30分 | Laurent  | オンライン | 11   | €247.50 |
| 夜間 A2    | 月/水 | 19:00 | 20:30 | 3時間    | Muriel   | オンライン | 22   | €495    |

問合せ・申込: Tel. 01 47 23 33 58 / [contact@nihonjinkai.fr](mailto:contact@nihonjinkai.fr)

目次

次

|                   |     |                   |    |
|-------------------|-----|-------------------|----|
| 新年のご挨拶            | 1   | フランス歴史散歩          | 8  |
| 特集・フランスにいるから書けるもの | 2   | 滞在許可再発行の手続き(続き)   | 8  |
| コロナ禍における心の健康      | 3   | 終(つい)のデザインのススメ    | 9  |
| ヨーロッパでの和紙にまつわるお話  | 3   | 補習校だより            | 9  |
| パリ日本文化会館事業案内      | 4-5 | クーブラン一族について<14>   | 10 |
| 特別連載 パリの画家たち      | 5   | グローバル時代のコミュニケーション | 10 |
| 滞在相談室から           | 6   | 場所と人の出会い<31>      | 11 |
| キッズテニス会員募集        | 6   | ふらんす俳句会           | 11 |
| 子ども図書館ボランティア募集    | 6   | 2021年新春フランス語講座    | 12 |
| 日本人会活動案内          | 7   |                   |    |

日本人会会報 Journal Japon

年6回発行: 第46巻1号 (通巻287号)

発行人 片川 喜代治

編集人 高橋 幸隆

発行 在仏日本人会

(旧)ASSOCIATION AMICALE DES RESSORTISSANTS JAPONAIS EN FRANCE

(新)Association des Japonais en France(新名称申請手続き中)

9, Av. Marceau 75116 Paris

TEL: 01-47-23-33-58

月~土 du lundi au samedi 9:30-12:30 /13:30-17:30

[www.zaifutsunihonjinkai.fr](http://www.zaifutsunihonjinkai.fr) [contact@nihonjinkai.fr](mailto:contact@nihonjinkai.fr)

\*サイト内「会報」の「バックナンバー」を閲覧する際の

パスワード: heian2020

\*本誌の無断転載を禁じます

# OCS フランス

## 国内・国際宅配便

書類・貨物の集荷はOCSまで

Tél 01 49 45 81 00 - Email [japandesk@ocsfrance.fr](mailto:japandesk@ocsfrance.fr)

